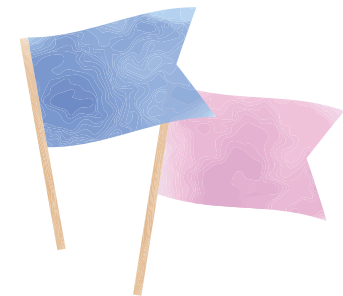


きくのはな通信
2025 年 6 月号
黄組

クラスの旗

5 月に年長のみんなで作ったこいのぼりが
今度はクラスの旗に変身します。



運動会などこれからクラスみんなで力を合わせる機会がぐっと増えます。
担任の先生とクラスみんなでたくさん話をし、意見をだし、
『黄組らしい旗・見た時に元気が出る旗』に決まりました。

旗のデザインが決まるまでとても時間を使いました。
「それぞれがこんな風にしたい」という思いが強く、話し合いは難航していましたが、実物の旗に
なる布を広げて紙を置いて配置や大きさを考えどんな感じになるのかを試してみると。
「あっ、こんな感じにできあがるのか」と具体的にイメージができ、無事デザインが決まりました。



デザインが決まったのでここからは布に描いていきます。元気が出る旗と言う事で『黄色』と見た
ら幸せになれるから『虹』がメインになります。
虹は自分の描きたい色を担当します。一緒に担当する友達とどんな技法を使って描くのは相談して決
めました。



ゆびでぬってみよう

ふでにしよう



一色ずつグループで描くのですが、1 度にたくさん塗れたほうがいいからとローラーにした
グループもありました。色ごとに技法は様々です。



クラスの旗作りの活動は、相談する、意見を言う、人の意見を聞く、考えをまとめるなど年長なら
ではの活動です。これは今後も成長していくうえで、大事で必要なので先生もアドバイスしながら、
丁寧に取り組んでいます。

まだまだ話し合いはうまく進まず、止まってしまったり、気持ちののらないこともありましたが、
一つ一つ協力して制作していく中で、クラスの旗に愛着をもって取り組んでくれています。
現段階ではまだ完成には至っていません。
運動会の時にお披露目できると思います。
完成を楽しみにしておいてください。



いまはここまで！

きくのはな通信
2025 年 6 月号
白組

クラスの旗

5 月に年長みんなで作ったこいのぼりが
今度はクラスの旗に変身します。



運動会などこれからクラスみんなで力を合わせる機会がぐっと増えます。
担任の先生とクラスみんなでたくさん話をし、意見をだし、
『見ていたら頑張ろうって気持ちになれる旗』に決まりました。

やりたいことがありすぎてなかなか旗のデザインが決まらない時期もありましたが、みんなで話し合う中で、お互いの意見も聞き「それもいいね」「じゃあ、こうする？」と友達の意見も取り入れながら、なんとか話し合いも進みデザインが決定しました。



みんなで考えたデザインです。
星は一人一人が絵の具で好きな色を作り、
塗る予定です。

デザインが決まったのでここからは布に描いていきます。

白組の旗は『虹の橋に星柄の車とユニコーンが走っている』デザインになりました。背景は虹がめっちゃきれいに見えるからという意見があり、『夕焼けの空色』に染めることにしました。
大きな旗に車やユニコーンなど形が複雑なデザインに、初めは「かけるかな？」という話にもなっていました、やってみる！と何度も書き直し納得がいくまでチャレンジする姿が見られました。



大きなビニール袋に染液を作り、みんなでもみ見込みました。
染まった布を広げるとみんなが思っていたきれいな夕焼けの空色になっていました。



クラスの旗作りの活動は、相談する、意見を言う、人の意見を聞く、考えをまとめるなど年長ならではの活動です。これは今後も成長していくうえで、大事で必要なので先生もアドバイスしながら、丁寧に取り組んでいます。

まだまだ話し合いはうまく進まず、止まってしまったり、気持ちのがのらないこともありましたが、一つ一つ協力して制作していく中で、クラスの旗に愛着をもって取り組んでくれています。
現段階ではまだ完成には至っていません。
運動会の時にお披露目できると思います。
完成を楽しみにしておいてください。

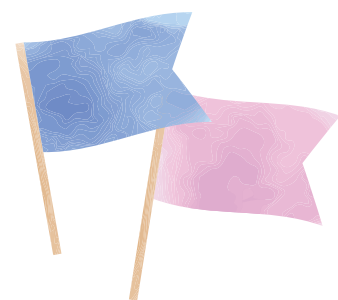


いまはここまで！

きくのはな通信
2025 年 6 月号
青組

クラスの旗

5 月に年長みんなで作ったこいのぼりが
今度はクラスの旗に変身します。



運動会などこれからクラスのみんなで力を合わせる機会がぐっと増えます。
担任の先生とクラスのみんなでたくさん話をし、意見をだし、
『青組のみんなで頑張ろうという気持ちになる旗』
に決まりました。

「青組だから、青色に旗を染めよう」「みんなの顔描きたいね」「うれしい気持ちになるから、虹も描いたらどうかな」とたくさんアイデアが出てきました。
みんなからのアイデアをもとに完成図を作りました。



デザインが決まったのでここからは布に描いていきます。描く場所は自分たちで相談して決めました。布を青色に染めるのは霧吹きで順番に布に吹き付けて色を付けました。
虹は一色一色友達と協力しながら塗っていきます。虹は筆やフィンガーペインティングなど自分たちで技法も相談して決めました。



旗の下部分はみんなの顔を描く予定です。そしてみんなの似顔絵をハートで囲むデザインになっています。
みんなで決めたデザインを大切にする姿がみられて、素敵だなと感じています。



クラスの旗作りの活動は、相談する、意見を言う、人の意見を聞く、考えをまとめるなど年長ならではの活動です。これは今後も成長していくうえで、大事で必要なので先生もアドバイスしながら、丁寧に取り組んでいます。

まだまだ話し合いはうまく進まず、止まってしまったり、気持ちがのらないこともありましたが、一つ一つ協力して制作していく中で、クラスの旗に愛着をもって取り組んでくれています。
現段階ではまだ完成には至っていません。
運動会の時にお披露目できると思います。
完成を楽しみにしておいてください。



いまはここまで！

川の広場

今年も川の広場に遊びに行きました。
1回目の川では制作に使う石を探しました。
行く前から「川の石」を使って宝石を作る事を伝えていたので、
「この石かくかくしてて宝石みたい」とこれから作る宝石をイメージして石を見つけていました。



園に戻ってきてから、石に色付けしました。
たくさん色の中から自分の好きな色をえらび、川で見つけてきたお気に入りの石に色をのせました。
いろいろな角度から石の見て、「ここにはこの色」とこだわって作る姿もありました。
またご家庭でもこだわったポイントなどお話を聞いてみてください。



自分たちで宝石を作ったことで、石に興味も沸きお部屋で石を積み木の様にして遊んでいたりと、園庭で見つけた石を「これも宝石みたいなかたちしてる」と探して楽しんでいます。

他にも川では「生き物」を見つけるのも楽しみの1つです。
生き物は浅瀬のところにいることが多いので、しゃがみこんで探している様子があちこちで見られます。



「かには石の下にいるんやで」と自分たちで動かせそうな石を片っ端からひっくり返しています。
みんなであたまを寄せて見つけた、かにやおたまじゃくしを観察しています。

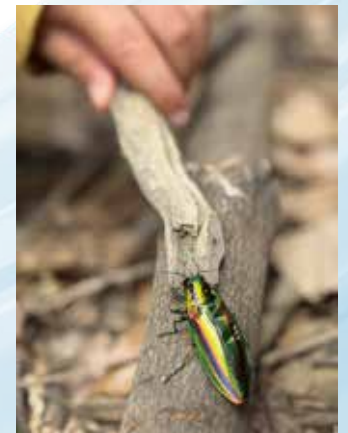


川で見つけた生き物はリリースして帰るため、納得したうえで「ばいばい」と逃がしてあげています。

園でも生き物ブームは続いています。
園庭で見つけたかみきりむしをお部屋で観察したり、かたつむりにあげるえさをTABERUにもらい
にいったうんちの色を観察したりと、生き物をクラスで飼いたい気持ちが芽生えてきています。

あるクラスでは森で見つけたきれいな色のたまむしを飼おうという話になりましたが、見つけた時から羽が傷ついていたのでしばらくして死んでしまいました。

「羽のある生き物はやっぱり飛ぶたいよね。」という話もでて、生き物を飼うにはその生き物に適した環境が必要なことも子ども達に伝えました。
色々な事を先生と一緒に考えながら生き物と関わっている年中組の今です。



きくのはな通信 2025. 6月号

いろいろなことをやってみよう！

粘土

細長い粘土が電車や橋になったり、クルクルと捻って小さくしたり、変化がある粘土。感触を確かめて、手の使い方によって形が変わってくことを楽しんでいました。「へびさんがいっぱい♪」「おだんごやさんです！」と見立て遊びをする様子もありました。今は粘土べらも使い、更に遊びが発展中！切ったり、穴をあけてみたりと更に遊びの幅が広がっています。



はさみ

まずはハサミの持ち方や使い方を確認し、1回切り（パッチン切り）に挑戦しました。自分で好きな色を選び切っていくと、どんどん粘土のフタに溜まっていきます。その様子が嬉しくて「こんないっぱいになった」と教えてくれました。

1回切りが出来たら連続切りにも挑戦！一度切った場所に続けて刃を入れる事や、線の上を切れるよう慎重に取り組んでいます。“おずかしいな”と声にする事もありますが、真剣な眼差しで最後まで諦めずにやり切っていました！

切った画用紙はTシャツの模様やフォトフレーム、七夕制作等、様々な作品に使われています！



幼稚園の生活にも慣れ、沢山の事に挑戦しています。今まで個人ではやった事のあるものでも、みんなでやると楽しさ倍増！道具の約束事を確認しながら集中して取り組んだり、楽しく話をして活動をしています。

水遊び

気温も高くなってきて、水遊びが気持ちいい季節になりました。みんなで親水広場に集まって魔法の言葉を唱えると…!!色々な所から水が出てきます！！水の出る場所を見上げてみたり、水に触れたりしていると、先生から“えい！”と手に溜めた水がかかってきて、それを合図に水を掛け合う姿もありますよ。身体が冷えてきたら日向でひと休み。「ここあったかい！」と園庭に出来た水たまりが温かくなっている発見もありました。

その日の活動の終わりに「クルクルってみずがでてきたな」と友達と嬉しそうに話す姿があり、その日の楽しさが窺えました。



はだしランド

雨の日は外で遊べなくても、はだしランドで沢山身体を動かします！上る、下りる等の動きを通して手足の使い方を考えたり、順番に並ぶ、待つ等のルールも遊んでいく中で自然と知っていきます。

どうすれば、これができるだろうと身体の使い方を考えながら体験し、自分には難しいと感じた時には無理にやらない事も大切です。「おーい、ここまでいけたよ！」と上まで行けた達成感や嬉しさを伝えてくれたり、「いっしょにいこう」と友達同士で楽しさを共有する姿が沢山見られます。

